

# 宮島中学校 2年 総合的な学習の時間 「なぜ人々は働くのだろうか」

## 1 単元について

### (1) 単元観

本単元は、探究課題「働くことの意義や価値と自分の生き方」を踏まえて構想した単元である。

本校では、毎年中学2年生を対象に職場体験学習(8月)を計画しており、本年度は4年ぶりに実施できた。職場体験学習は生徒が将来の職業を考えるうえで意味ある活動である。そこで、「なぜ人々は働くのだろうか」を単元を貫く問いとして設定した。

本単元は右の単元系統表に示す通り、宮島小中学校9年間の「生き方・あり方学習」の系統にある。働くこと(職業)を切り口に、自己の将来を見つめ、よりよい生き方を高めていくことを目的とする。

ここでの学習を受け、人々の生活と結びつく仕事のよさや課題について、3学期実施の「将来の職業観」(進路学習)につなげる。その後、9年生の「自己のありたい将来を自分なりに表すこと」につなげていく。

宮島学習 今ある姿を「守り・継承すべき」学びと体験 心豊かな暮らしを育む創造		生き方・あり方学習 生き方・あり方の 探究と創造
学年	3 3年生 4 4年生 5 5年生 6 6年生 7 7年生 8 8年生 9 9年生	キャリア発達 8 8年生
1	がっこうだいすき	いきものなかよし なつがやってきた たのしいあきいっぱい (7年生とドングリの雛子を継える) ふゆをたのしもう
2	宮島まちたんけん	生きものなかよし大さくせん ぐんぐんそだて わたしのやさい
3	宮島の行事を伝えよう やさしい町 宮島を見つけよう 宮島の今と昔をつなぐ新聞を作ろう	
4	宮島杓子のすばらしさを伝え隊 運人に学ぶ (~R3)	マイタイムラインをつくろう (8年生と昔を継える)
5	宮島伝統工芸展らん会を開こう (R4~)	宮島の海を守るために行動しよう 環境シンポジウムを開こう
6	伝統をつなごう 宮島の歴史を発見しよう 宮島の町並みを全国に届けよう	
7	伝統をつなごう	宮島の自然を守るために行動しよう (1年生とドングリの雛子を継える)
8		宮島の魅力☆発見・発信 ・宮島を守るために苗を育てよう
9	伝統をつなごう 宮島☆未来プロジェクト (個人探究)	

### (2) 生徒観

今までの総合的な学習の時間や普段の授業での振り返りを見る中で、「自分の考えを自らの言葉で表現できる」と評価できる生徒は12人中6人である。残りの生徒は、自分の考えを持っているがそれをうまく表現できなかったり、指導者が支援をすることにより自分の考えを持つことができたという状況である。

### (3) 指導観

指導にあたっては、生徒観に挙げた生徒を含め全員が「10年後の自分がどのように働いているか」「そのために今なにができるのか」ということを自分の言葉で表現できるようになることをゴールとする。

そのために、職場体験で学んだことや感じたことをキーワードで挙げさせワークシートに記入する。そのキーワードをグループで共有する。この協働的な関わりの中で自分の意見に自信を持たせ、自分の考えが変容したことに気付かせていく。最終的に提言(キャッチコピー)を完成させていくように細かく指導していく。

## 2 単元の目標

職場体験学習や外部講師による働くことについての学習を通して、働くことの意義ややりがい  
は多様にあることに気付き、将来の自分を見つめ、自己の将来を考え、自己の将来の実現のため  
に必要なことを見つけ提言を作成できる。

### 3 単元の評価規準とルーブリック

#### (1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 職場体験や外部の人の話を聞く活動で、働くことの意義や価値に気付いている。</p> <p>② 社会人として必要なマナーや技能を身に付けたり、人と関わって必要な情報を収集したりしている。</p> <p>③ 働くことの意味を考える学習が、今後の自身の生活に関わっていることを理解する。</p>	<p>① 自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にして課題を見出し、解決に向けた見通しをもっている。</p> <p>② 他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を収集している。</p> <p>③ 職場体験やインタビュー等で得た情報を多面的に分析し、今後の自身の生き方と関連させている。 【伝える力（整理・分析）】</p> <p>④ 自分の考えを相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 【伝える力（表現）】</p>	<p>① 自分の特徴やよさを理解し、目標と課題を持ち、解決しようとしている。 【見つめる力（主体性）】</p> <p>② 自分や友達の意見や考えのよさを活かしながら、課題解決に向け取り組もうとしている。 【見つめる力（主体性・協働性）】</p> <p>③ 自己の将来を見つめ、よりよい生き方を考えようとしている。 【見つめる力（将来展望）】</p>

#### (2) つけたい資質・能力を見取るためのルーブリック

	B	A
伝える力	<p>職場体験で得た情報を分析し発表できる。 【思考・判断・表現③】</p>	<p>職場体験で得た情報を今の生活と比較し因果関係を推論し相手に伝えている。</p>
	<p>職場体験を通じて調べ考えたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて表現することができる。 【思考・判断・表現④】</p>	<p>職場体験を通じて調べ考えたことをまとめ、相手や目的、意図に応じてわかりやすく工夫して表現することができる。</p>
見つめる力	<p>職場体験を経験して目標や見通しをもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとする。 【主体的に学習に取り組む態度①】</p>	<p>職場体験を経験して自分の意思で目標や見通しをもって課題の解決に向けた探究活動をし、課題の解決のために、粘り強く取り組もうとしている。</p>
	<p>職場体験後の自分の生活を見直し、自分のよさを理解しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度②】</p>	<p>職場体験後の自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分のよさを理解しようとするとともに、他者の考えを受け入れ尊重しようとする。</p>
	<p>提言づくりをする中で探究的な活動を通して、自己の将来について考えている。【主体的に学習に取り組む態度③】</p>	<p>提言づくりをする中で探究的な活動を通して、自己の将来について考えるとともに、実際に今できることを見つけ具体的に計画を立てている。</p>

【SDGs との関連 8 番】



#### 4 単元の計画（全 23 時間）

次	学習活動	予想される 生徒の反応	評価規準			指導上の留意点 他教科等との関連
			知	思	態	
1 働く意義や価値を探ろう	<b>課題の設定（3）</b> ○過去の職場体験の様子を知り、どんな学習をしていくか、今年度の学習への期待をもつ。 ○職場体験をする目的、ねらいを押さえて、働くことの意義を考える。 ○職場体験に向けて自分の課題を設定し、取り組む。 ○「なぜ人は働くのか」を考え、自分の思いをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に合った仕事は何だろう。</li> <li>仕事は何のためにするのだろう。</li> <li>仕事は給料をもらうためにするのではないか？</li> </ul>		①		<ul style="list-style-type: none"> <li>社会科公民 「労働の意義と労働者の権利」 「(社会権) 勤労の権利と労働基本権」</li> </ul>
	<b>情報の収集（6）</b> ○自分の適性について考える。 ○自分の就きたい職業について調べ、その職業に必要な能力について考える。 ○社会人として必要なマナーについて知る。 ○自己紹介カードを記入して、自己を見つめる。 ○地域で働いている方の話を聴いて、人の生き方に触れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のよさって何だろうか。</li> <li>自分に合った仕事は何だろうか？</li> </ul>	②		①	
	<b>実行【職場体験】</b> <b>情報の収集</b> ○実際に働いている人にインタビューをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな内容を聞こうかな。</li> <li>大人から見た中学生はどのように見られているのだろうか。</li> <li>実際に働いてみて気づいたことは～だ。</li> </ul>		②		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事 職場体験（10事業所）</li> </ul>
	<b>整理・分析（3）</b> ○自分で考えた働くことの意味と、実際に働いている人が考える働くことの意味を比べる。 ○職場体験中にインタビューしたことをまとめる。 ○「なぜ人は働くのか」を考え、以前もっていた自分の思いと今の思いを比べる。 ○様々な面からの働き方に触れ、自分の考えをもつ。		①		②	
	<b>まとめ・表現・創造（4）</b> ○整理した情報をまとめ、学級全体で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>違う場所に体験に行った他の人はこんなことを考えていたのかな。</li> </ul>		③		<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科 「自分の考えを筋道立てて書く力」 「目的や意図に応じてわかりやすく表現する力」</li> </ul>

<p>2 10年後の自分のビジョンを考えよう</p>	<p><b>課題の設定 (1)</b> ○提言をつくり、地域の人・事業所の方に伝える計画を立てる。</p> <p><b>情報の収集 (2)</b>      <b>整理・分析 (1)</b></p> <p>○提言づくりに向け、外部講師(キャリア教育コーディネーター)の話を聞き、外部講師にインタビューするなど対話して情報を得る。 ○宮島文化発表会では3グループに分かれて、職場体験で行ったことや気づいたこと、さらに今できることをまとめて発表する準備をする。</p> <p><b>まとめ・表現 (2)</b></p> <p>○宮島文化発表会で職場体験の発表を行う。 ○整理した情報をまとめ、学級全体で共有する。 ○初めは働くことは収入を得ることだと考える生徒が多かったが、これまでの授業の中で自分の考えがどのように変わったか意見交流し提言を完成させる。(本時)</p> <p><b>ふりかえり (1)</b></p> <p>○本単元を振り返り、自分たちの活動や考え方をさらに改善したり広げたりすることについて考える。 ・(A 評価) 働くとは収入を得るだけではない、と気づき今できることを見つけることができた。さらに、実行に移す内容を具体的に書いている。 (B 評価) 働くとは収入を得るだけではない、と気づき今できることを見つけることができた。</p>	<p>・職場体験を経験して、「働く」とは〇〇ということだと感じた。</p> <p>・「働く」ことについて、初めはつらそうだと思っていたけど、体験すると「楽しい」こともあると感じた。</p> <p>・他の人が言っていた「やりがい」ってどういうことかなあ。 ・自分の強みって何だろう、好きなことを生かしてみたい。 ・働くこととは生涯勉強をし続けるということかなあ。そのために今の自分ができることはなんだろう。</p> <p>・自分は10年後何をしているのだろうか。そのために必要なものは何だろうか。</p>		<p>②</p> <p>④</p> <p>③</p> <p>③</p> <p>③</p>	<p>・意見交流や協働場面では、思考ツールを効果的に用いる。</p> <p>・資質・能力の高まりについても振り返らせ、学習を通して自分にどんな力がついたかを実感させる。</p>
--------------------------------	--	---	--	--	--

## 5 本時について（22 時間目／全 23 時間）

### （1）本時の目標

働くことについて、他者の考えを受け入れ自分の考えがどのように変わったか意見交流し、提言を完成させることができる。

### （2）準備物

Chromebook（スライド）、ワークシート、自己評価カード

### （3）本時の学習過程

時間	学習活動	教師の働きかけ ○支援 ・評価 ( ) 評価方法
5分	1. 前時までの学習を想起し、本時の学習のめあてを確認する。 Chromebook のスライドを開いておく。	○学習プリント、発表資料 ○3グループごとに教員がついてフォローする。
	㊦ 前時の発表をもとに、提言を完成させる。	
20分	2. 前時で発表したことを基に自分の提言を見直し、3グループに分かれて前回の発表した内容を評価してあるワークシートを基に修正する。 ○修正を内容ごとに整理していく。	・グループ内でお互いの意見を交換して、自分の考えを修正している。 (観察内容) ・お客と公平に接する、感謝、 ・体力・気力・集中力、真剣さ やりぬく ・協力 ・礼儀、笑顔と挨拶 など ○自分の進路につなげて話し合いができるよう働きかける。 ○大きな変化があった生徒を発表者に決める。
20分	3. グループについていた教員がほかのグループへ行き、他のグループのメンバーの提言がどのように変わったか伝え、提言の内容を深める。 ○各グループで代表を1名決めて発表させる。	○振り返りの観点を提示する。 ・今後自分が学びたいことや、自分のよさを書いている。(振り返りシート)
5分	4. 学習の振り返り、次時の学習の確認  自己評価カード（振り返り）を書く。 ○感想を書いたり、自分の取組を振り返ったりする。 ○今後、自分はどんなことを学ぶ必要があるか（足りないこと）考える。	

### 本時の評価規準 ルーブリック

	B	A
見つめる力	協働的な活動を通して、自分の提言が完成できた。	協働的な活動を通して、自分の提言を完成させ、実際に今できることを見つけ具体的に計画を立てている。

## 単元構想シート

中学校第2学年

教科等 総合的な学習の時間

単元（題材）名 なぜ人々は働くのだろうか

### ① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

10年後の自分はどうか。

### ② 単元を貫く問い （単元を通して考えを深めていく「問い」）

なぜ人々は働くのだろうか。

### ③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・働くことの意味や仕事について考えよう。
- ・将来、働きたい職種や職業（興味・関心がある職業）のことを調べよう。
- ・自分自身の中学校卒業後の進路について考えよう。
- ・自分の適性や特徴を知って進路選択に生かそう。
- ・宮島で働く人々の思いや考え、喜びや苦勞を知ろう。

- 1 働くことの意味を考えよう。
- 2 自分の適性、自己を見つめてみよう。
- 3 身近に働いている人の話を聴こう。
- 4 職場体験に向けての心得を知ろう。
- 5 実際に働いた体験から、自分の生き方を考えよう。
- 6 体験したことや思ったことなどを意見交流しよう。
- 7 自己の将来の働き方を考えてみよう。

## 単元計画の 構想を立てる